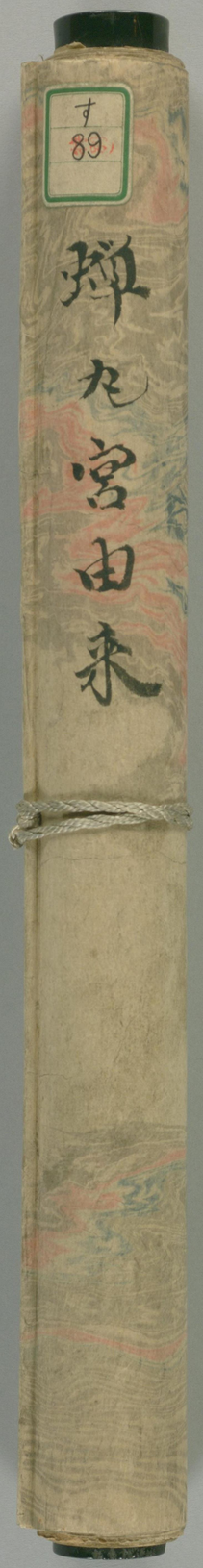

国立国会図書館　タイトル『蟬丸宮由来』 請求記号 す-89

す
89

蟬丸宮由来

国立国会
25.11.6
図書館

11083

国立国会図書館　タイトル『蟬丸宮由来』 請求記号 す-89

仁王第

平城天皇　嵯峨天皇　淳和天皇

仁明天皇　文徳天皇　清和天皇

陽成院　光孝天皇　宇多天皇

醍醐天皇　朱雀院　村上

御堂殿ト号ス南朝ナル故ニ不社宮工別用

国立国会図書館　タイトル『蝉丸宮由来』　請求記号 す-89

仁王第
平城天皇　嵯峨天皇　淳和天皇
仁明天皇　文徳天皇　清和天皇
陽成院　光孝天皇　宇多天皇
醍醐天皇　朱雀院　延喜御門王子是也

抑蟬丸ト申ハ両眼共ニ閉目ナル故ニ依不叶王宮江剃相
坂山ニ流人ニ成給也即チ相坂山ニ捨置キ供奉ノ旁
々作涙勅定ナレハ何モ被帰其ハ後蟬丸ノ姉宮深ク
イタワリ餘リニ悲キ、蟬丸住処ヲ御覧有度思シ
召シ相坂山ヲ指テ夜忍ヒ行給ヒテ琴琵琶音聞給ヒテ
非只人蟬丸ニテモヤラント草庵ノ前ニ立給ヒ内ヨリ人ノ
足音ヲ御聞キ有テ戸ヲ開キ給ヘハ則チ姉宮蟬丸ヲ御覧
有テ御手ト御手ヲ取リ互ニ涙ニムセビ給ヒ王ノ計リ也
哀シリヤツレ、シ、ス御姿ヲ御覧有テ姉宮ハ御心乱
狂乱給時御髪モサカサマニ立ツ其ヨリ御名ヲサカガミト
申ス御兄弟ナカラ覚御後ハ同シ社祭ノ籠メ給ヒ也
彼明神氏子ハ並ヒ髪少シツヽサカサマニハ立ル
是不思儀也供奉大臣白川紀則長聽上洛有テ
折ヲ見廻也ヲ居留人基経師轉古屋ノ美女也
乃チ延喜廿二年壬寅春二月崇也同ク斉房ニ聽テ

寛暦式壬申歳

六月廿二日

夏不思儀也供奉大日令八紀見長躰上洛有
折ニ見廻也居留人基經師轉古屋ノ義女也
仍テ延喜廿二年壬午春二月ニ京ニ上ル也同ニ年号ニ聽テ
開眼有リト云ヘトモ平生ガタメズミル事アル故ニ終ニ都ヘ
不出給也於相坂山ニ宿ル御櫛仁倫希ニワテ屋
フセ屋躰ニ日月地ニ落タル アリサマ也古屋女房ブナカツ
ラヨリ基經師轉古屋ノ義女ヲ成イラセテメツキモ知ヌ山ニテ
木ノミヲヒロイ草ノミヲ取テ月日ヲ送リ給ヒシニ天慶九
年丙戌九月ニ夢御有リ御年廿一ト云其後基經
江州志賀ノ里ニ住ニ古屋ノ義女ヲ成師轉
行末今世説教有是也 時蟬丸本地妙音
菩薩化身也妙音菩薩四身ヲ分テ為衆生
濟度權々形現給故或時閉眼有テ世間
盲目ニ近付テ利益ニ或時相坂山下稜公ノ眞
人利益ニ請ル事是以佛菩薩ノ使也蟬丸
延喜王ノ子ナレハワラヤフセ屋スミイナカラ御心尋
常ニテ常ニ琴琵琶ヲ御慰トテ琴ノ六度ヲ行ト
カキ鳴ニ琵琶ハ断除無明ノ弾極樂浄土ノ
管絃粧表ニ給ヒ也假令為利益方便權々
安云ニ王ノ太下モ内心何ニ早ク成ナラン哉

關清水大明神

寛暦弐壬申歳
六月廿七日

江州志賀郡三井寺別院
近松寺
惣代

寛政七乙卯歳五月廿四日　執行

文化十壬申年五月二十四日　三井寺　印

後河内国有波郡百済村説教者

国立国会図書館　タイトル『蝉丸宮由来』　請求記号　す-89